



### 村民の皆さんと 知恵を出し合いながら

鮫川村議会議長 前田 三郎  
Saburo MAEDA

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健康で希望に満ちた新春を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

昨年は、サブプライムローン問題の発生以来、日本経済は円高・デフレによる景気低迷が続き、景気回復に光が見えないのが現状であります。また、異常気象で記録的な猛暑に見舞われた年でありました。コメ農家へは、豊作でも米価下落によって、農家収入に深刻な影響を及ぼしました。

村では、引き続き、国の経済対策に呼応した地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業などを活用し、失業者の雇用確保を始め、村施設の必要な改修・整備を先取りで事業を行い、地域経済浮揚策としても支えてきました。

耐震補強改築工事では、青生野小が十月に完了し、小中学校がすべて耐震化されました。

村民保養施設「さざり荘」は、村民憩いの場とし、新装オープンの期待が高まっています。

ております。また、「さざり荘」の温泉熱原には、薪ボイラーが導入され、地球に優しい温泉施設としても愛着が持たれそうです。

農産物加工直売所「手・まめ・館」では、加工室およびパン工房・喫茶室の増築工事を実施しており、六次産業化の充実と村中心地の活性化をより高め、内外の誘客効果に一層の期待がかかります。

議会では、行財政改革特別委員会において、次期議員定数は、現状維持の十二

名としましたが、議論を尽くした結果であります。今年には統一地方選挙の年に当たりますが、検討結果を生かす開かれた討議の場となるよう、議会運営を目指していきます。

自立した村づくりのため、村の第三次振興計画の理念に基づき、「まめで達人な村づくり」を推進し、少子・高齢化対策、農業、商工業の振興、村の将来を担う子どもたちの教育、また、バイオマスヴィレッジ構想の「堆肥センター」の建設に着手したところであります。

山積する課題に、執行機関とともに真剣に考え、村民の皆様の負託と期待に応えられるよう精一杯努力して参ります。村民の皆様と知恵を出し合いながら、また、住民との協働を期待しこれらの難題に立ち向かっていきたいと考えます。

今年も皆様にとりまして、良き一年でありますよう、ご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。



### 人が集まる 魅力ある村づくり

鮫川村長 大楽 勝弘  
Katsuhiko DAIRAKU

皆様には、輝かしい平成二十三年を迎えられましたこと、心からお喜びを申し上げます。村政に對しまして、平素から積極的にご参加いただき、深く感謝を申し上げます。

我が国の経済は、平成二十年のリーマンショック後の経済不況から、国を挙げての不況対策により回復のきざしが見られましたが、今夏以降の急激な円高の進行により輸出産業は国際競争力が低下し、またまた先行き不透明な様相を呈して

います。国政は、昨年の衆議院総選挙で政権が交代し、それまでの衆参ネジレ現象が解消したばかりでしたが、今夏の参議院選挙で逆ネジレ現象となり不安定な政権運営を余儀なくされています。一方で国の借金残高は今年の六月末現在九百兆円を突破し、今後の財政運営は非常に厳しいものがあり、当然今後の村の財政運営も厳しいものが予想されます。

このように厳しい情勢では、国、県が進める地域

活性化、経済危機対策事業を積極的に取り入れて、これまで財政事情からできなかった事業を実施しながら地場産業の振興・地域の活性化対策を積極的に進めているところであり、小・中学校等の耐震改築工事もほぼ完了しました。昭和四十七年度に建築され老朽化の進んでいました村民保養施設「さざり荘」の改築工事。村中心部の賑わいづくり、六次産業化発展のための「手まめ館」隣接地への加工所、パン工房の建築。

定住化をすすめるための村営住宅の建設と宅地分譲地の造成。安心・安全、環境と人に優しい「有機の里づくり」のための堆肥センターの建設などであり、今年も、安全で安心して暮らせる村、人が集まる魅力ある村づくりのために努力して参りますので、皆様方の積極的なご提案、ご協力をお願い申し上げます。ともに、本年も皆様にとりまして最良の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。